

発行・編集 伊勢原市教育委員会 教育総務課

きょういく伊勢原



市役所代表TEL0463-94-4711 [E-mail] k-soumu@isehara-city.jp ■教育総務課(内線)5116 ■学校教育課(内線)5120 ■教育指導課(内線)5130
■教育センター95-2211(直通) ■社会教育課 93-7500(直通) ■図書館 92-3500(直通) ■子ども科学館 92-3600(直通)

文化や芸術を
もっと身近に

文化のかおり高いまち伊勢原

見て・感じて・やってみよう！あなたの才能再発見！！

市民活動の発表の場や文化芸術に触れられるさまざまな機会があります。

いせはら市展 ～学びや趣味のきっかけづくりに～

市民の文化芸術活動の成果を発表・鑑賞する場として、広く作品を募り、例年6月に中央公民館で開催しています。期間中は絵画・版画・彫刻・書・写真・陶芸・工芸の各作品を展示し、それぞれの部門ごとに審査、表彰を行っています。

第23回いせはら市展は6月6日(水)から開催します。応募等の詳細は下記担当までお問い合わせください。



伊勢原市民文化祭

例年、10月から11月にかけて開催し、展示部門、発表部門に分かれて、中央公民館や市民文化会館で開催しています。絵画、書道、写真、短歌や俳句、華道など多彩な作品が展示されるほか、ダンス、合唱、楽器演奏などの発表もあります。

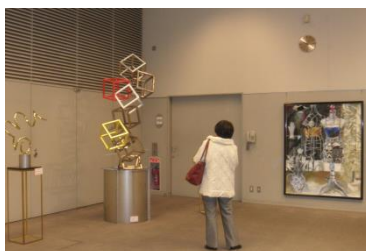
菊花展は総合運動公園で行い、丹精込めた美しい菊の花が、見る人の目を楽しませてくれます。

市民音楽会

クラシック音楽を市民の方々に身近な場所で親しんでもらうため、伊勢原市音楽家協会の協力のもと、伊勢原市民文化会館で演奏会を開催しています。迫力ある本格的な演奏を生で鑑賞できる貴重な機会となっています。クラシックコンサートに足を運んだことのない方も、気軽に行ける音楽会です(入場無料)。

伊勢原美術協会展

市内ゆかりの芸術家の方々の貴重な作品(絵画・版画・彫刻)を、例年3月に中央公民館で展示しています。多くの素晴らしい作品との出会いは、日常に潤いと活力を与えてくれます。



このほかに、各地区公民館でも文化・芸術に関する講座や展示等を行い、みなさんの生涯学習を支援しています。まずはお近くの公民館へ！

お問い合わせ：社会教育課 93-7500(直通)

伊勢原の文化財と日本遺産

平成28年4月に認定された本市の「日本遺産」は、大山そのものや、大山寺、阿夫利神社、日向薬師、比々多神社などの神社仏閣、大山講の一行をもてなした宿坊、豆腐料理、土産品として喜ばれた大山こま、伝統芸能である倭舞（やまとまい）・巫子舞（みこまい）、大山能狂言など、全21の文化財で構成されています。今回は、その中のいくつかを紹介します。

また、「いせはら文化財サイト」に、日本遺産プロモーション動画をアップしていますので、そちらも合わせてご覧ください。
お問い合わせ: 教育総務課 歴史文化担当(内線 5216、5217)

みち どうひょう

大山道の道標



各地から大山へ向かう参詣者が通った街道は、通称「大山道」と呼ばれ、柏尾通り大山道、田村通り大山道など、主要なものだけでも8～10のルートがあったとされています。その大山道の街道沿いや辻には、参拝者を大山へと導く石造りの道標が建てられ、現在でも多くの道標が残されています。

市では、市内に所在し、「大山」や「大山道」と表記がある道標のうち、所有者・管理者が存在しないと認められるものについて、市登録文化財（有形民俗）として登録しました。

ほうじょうぼう ひなたやくし しぎ

宝城坊(日向薬師)の神木のぼり



修験者が修行のための入山前後に行う儀式で、現在も宝城坊の春の例大祭において再現されています。修験者が斧や弓で周囲を清めた後、5mほどのシイの木に登って安全祈願の書状を読みあげます。木から降りると護摩を焚き、火渡りが行われます。例大祭のなかでも、多くの参拝者が集まる儀式です。

地元有志からなる「宝城坊神木のぼり保存会」が執り行うこの儀式は、市登録文化財（無形民俗）として登録されています。



日本遺産

大山こま



大山の挽物師（ひきものし）・木地師（きじし）により製作された大山こまは、金回りが良くなる縁起物とされ、江戸時代以降、大山詣りの代表的な土産物とされています。現在でも、4軒5人の職人により作り続けられています。

市では大山こまを将来に継承していくため、その製作技術を市指定文化財（無形民俗）に指定し、5人の職人を技術保持者として認定しています。昨年11月には、大山こまの製作実演会を開催し、こまづくりの実演や昔ながらの道具の展示などを行いました。

大山能狂言



大山に江戸時代から伝わる伝統芸能で、300年を超える今も大山能楽社保存会により引き継がれています。市指定文化財に指定され、大山阿夫利神社の秋季例大祭などで奉納されています。

また、昨年6月には、次世代への継承を目的に、山王中学校の生徒を対象として、観世流の能楽師を招き、大山能の実演や、能面・装束の着付け体験などを行いました。



学校教育 ～新しい教育課程～

外国語（英語）教育の充実

国では、グローバル化に対応する人材を育成するため、平成32年度から小学校の外国語（英語）教育を大幅に充実させます。

本市では移行期間として、平成30年度から、3・4年生では年間15回以上の「外国語（英語）活動」、5・6年生では、「外国語（英語）科」の内容を加えた年間50回以上の「外国語活動」を行います。

今後の本格的な、外国語（英語）教育の導入に向け、さらなる授業時間や内容の充実を図ります。



<3・4年生>

「聞くこと」「話すこと（やりとり・発表）」を中心とした、外国語に慣れ親しみ、学習への動機付けが高まるような学習内容です。文部科学省が作成した教材

「Let's Try! 1（3年生用）」「Let's Try! 2（4年生用）」を使用します。

<5・6年生>

段階的に「読むこと」「書くこと」を学習していきます。

文部科学省が作成した教材「We Can! 1（5年生用）」「We Can! 2（6年生用）」を使用します。

5つの領域「聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと」別に目標が設定され、小学校、中学校、高等学校を通じて一貫した学びを重視した教育内容となっています。

道徳の教科化

小学校では平成30年度、中学校は平成31年度から検定教科書を導入し、「特別の教科 道徳（道徳科）」として授業を行います。

検定教科書は、いじめの問題への対応や発達段階をより一層踏まえ、問題解決力を養う内容や体験学習を取り入れた内容となっており、「考える・議論する」道徳科への転換によって、児童・生徒の道徳性を育てていきます。

評価は数値によるものでなく、児童・生徒の道徳性に係る成長の様子を把握して記述します。

お問い合わせ：教育指導課（内線5132）

「学校に行きたくない」一相談にのってもらえますか？

学校への不適応や家庭教育等の悩みについて、教育センターの教育相談員による相談を次のとおり受け付けています。

対象：市内在住、在学の児童生徒本人や保護者等（原則、小・中学生）

相談時間：平日（祝祭日・年末年始を除く）午前8時30分～午後5時

相談専用番号：0463-94-8900（直通） F A X 番号：0463-95-9688

また、市内小・中学校に配置しているスクールカウンセラーや、巡回しているスクールソーシャルワーカーにも相談することができますので、お子さんが在籍している学校へご連絡ください。

お問い合わせ：教育センター

伊勢原市第2期教育振興基本計画の策定

教育基本法の規定に基づき、地域の実情に応じた教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるため、平成30年度から平成34年度の5年間で計画期間とする伊勢原市第2期教育振興基本計画を策定しました。

第2次伊勢原市子ども読書活動推進指針の策定

子どもの読書活動の推進に関する法律の規定に基づき、家庭・地域・学校等と連携して子どもの読書活動を推進するため、第2次伊勢原市子ども読書活動推進指針を策定しました。

読書活動は、子どもの知的好奇心を呼び覚まし、想像力や思考力を培い、豊かな言葉やコミュニケーション力を養うなど、未来を担う子どもの元気で豊かな心を育むために大変重要な役割を果たしています。

伊勢原市いじめ防止基本方針の改定

いじめ防止対策推進法の規定に基づき策定した、伊勢原市いじめ防止基本方針について、国の改正に準じて必要な改定を行いました。

「いじめ」という言葉を使わず指導することも必要であることや、いじめ解消の定義（いじめに係る行為が3ヵ月を目安に止んでいる・被害者が新たな心身の苦痛をうけていない）等の内容を加えました。

各計画等は、市のホームページや市役所、公民館、図書館でご覧いただけます。

トピックス

公共施設使用料の見直し

市では、将来にわたって安定した公共施設のサービスの提供とともに、施設の利用者と市民が適正に負担を分かち合いながら持続可能な施設運営を図るため、使用料の見直しや有料化に向けた検討を進めています。

教育関連施設では、学校施設や公民館などが有料化の対象となっています。市民への使用料案の説明会が4月中旬から市内7地区で開催されます。日程や開催場所については、市のホームページをご覧ください。下記担当までお問い合わせください。

お問い合わせ：公共施設マネジメント課(内線 5621)、社会教育課 93-7500(直通)



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

大田公民館と大田ふれあいセンターの機能統合

市では、公共施設の老朽化対策と財政健全化のため、既存の公共施設について、中長期的な視点で「質・量の見直し」を行い、効率的で計画的な公共施設のマネジメントに取り組んでいます。

その一つとして、大田地区にある類似施設である大田公民館と大田ふれあいセンターの二つの施設の機能統合を進めています。

具体的な計画は、平成31年4月を目途に、現在の大田ふれあいセンターの建物を新たな大田公民館とし、現在の大田公民館を利用廃止にする予定です。

お問い合わせ：社会教育課 93-7500(直通)

今年は5月30日が「チャレンジデー」

人口規模がほぼ同じ自治体同士で15分以上継続してスポーツや運動をした「住民の参加率(%)」を競い合います。今年の実戦相手は、山梨県甲斐市です。

実施日時：平成30年5月30日(水) 午前0時～午後9時

主催：伊勢原市、伊勢原市教育委員会(公財)笹川スポーツ財団

お問い合わせ：スポーツ課(内線 6512)



祝・伊勢原市立図書館・子ども科学館開館30周年！

今年度で、伊勢原市立図書館・子ども科学館が開館30周年を迎えます。さまざまなイベントを企画しています、ぜひ学びに・遊びにお越しください。

お問い合わせ：図書館 92-3500(直通)・子ども科学館 92-3600(直通)



伊勢原市まちづくり市民ファンド(まちづくり応援寄附金)

市では、市民や企業、団体等の皆さんに、まちづくりの事業実施に必要な資金の一部を寄附していただく「まちづくり市民ファンド」を募っています。詳しくは、伊勢原市ホームページ又は担当まで。

お問い合わせ：財政課(内線 4211,4212)

平成30年度 伊勢原市教育委員会の主な行事予定

5月

- ・子ども科学館フェスティバル(子ども科学館)
- ・図書館子ども読書フェスタ(図書館)
- ・チャレンジデー

6月

7～8月

- ・第23回いせはら市展(中央公民館)
- ・夏休み 学校プール開放(全小学校)
- ・たぬき先生の親子顕微鏡教室(子ども科学館)
- ・図書館の怪談(図書館)
- ・夏休み自由研究相談室(子ども科学館)
- ・夏休み科学館フェア(仮)(子ども科学館)
- ・平成30年度教育講演会(市民文化会館)
- ・ロボットフェスティバル(子ども科学館)
- ・ナイト・ミュージアム(子ども科学館)
- ・伊勢原市自由研究展示会(子ども科学館)
- ・地区・学区体育祭(各小・中学校)

12月

1月

- ・市民のための図書館教養講座(図書館)
- ・第54回伊勢原市民文化祭(市民文化会館ほか)
- ・人権啓発講演会(市民文化会館)
- ・第48回市民走れ走れ大会(総合運動公園ほか)
- ・第36回伊勢原駅伝競走大会(総合運動公園ほか)
- ・成人式(市民文化会館)
- ・百人一首かるた大会(図書館)
- ・第30回市民音楽会(市民文化会館)
- ・公民館まつり(各公民館)
- ・教育委員会表彰式典(市役所)
- ・第34回大山登山マラソン大会(伊勢原駅北口～大山阿夫利神社下社)
- ・第34回伊勢原美術協会展(中央公民館)

2月

3月

9～11月